



おもしろい生きものが暮らす森で

誰かの『いらないもの』が

誰かの『たからもの』に

大牟田市にある『ともだちや絵本美術館』は、
日本初の『動物園内にある絵本美術館』。

大牟田市出身の絵詞作家・内田麟太郎さんの作品
「おれたち、ともだち！」シリーズをはじめ、
約1,000点の原画を収蔵しています。

ここで『いらないもの』が『たからもの』に
生まれ変わるイベントが開催されると聞き
覗きに行ってきました。



大牟田市

ともだちや絵本美術館

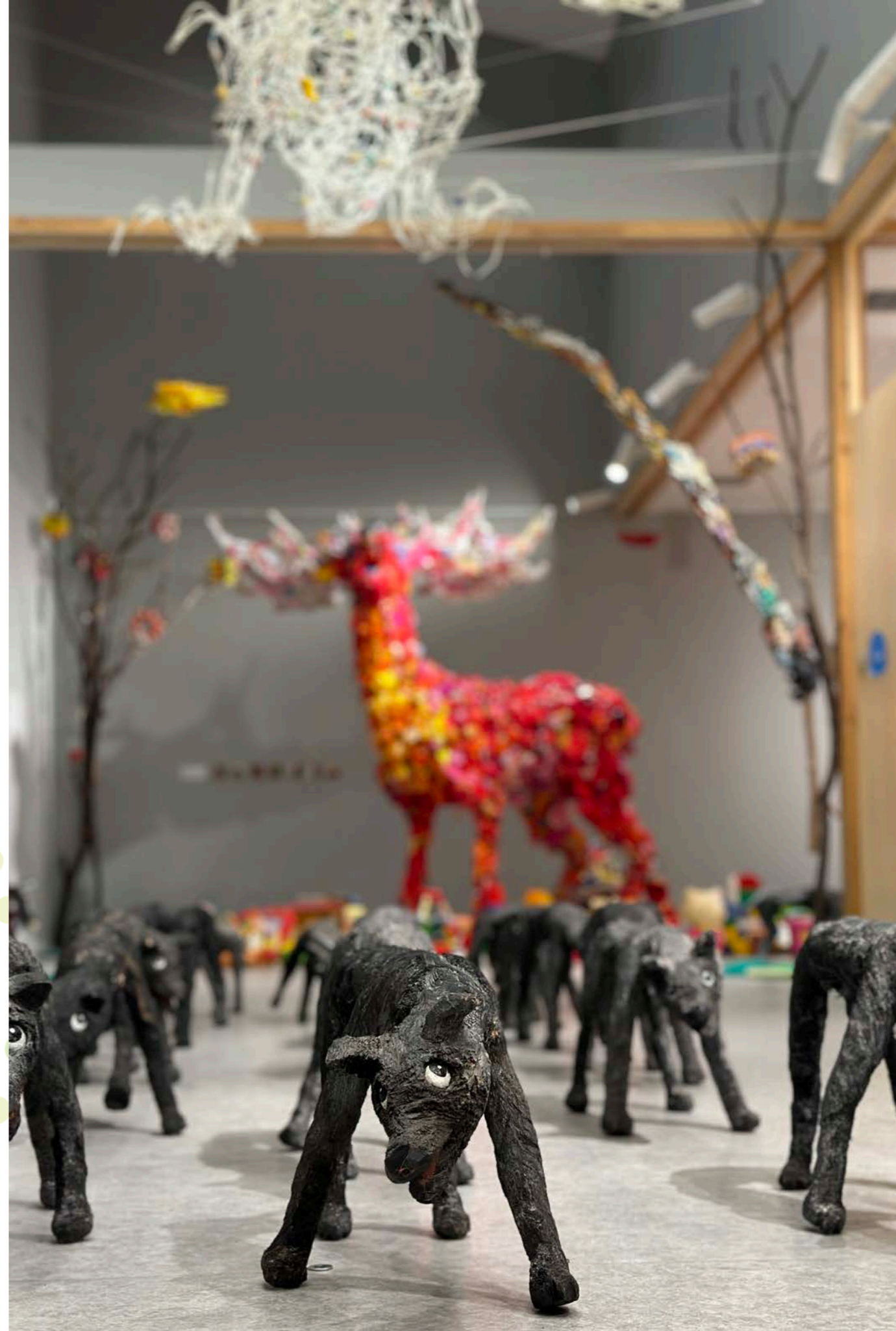
おもしろい生きものが暮らす森

『ともだちや絵本美術館』では、2023年10月9日までの企画展示として『おもしろいきものもり～藤浩志のかえっこおもちゃでつくる世界～』を開催中。1960年鹿児島県生まれの美術家・藤浩志さんによる作品の展示です。

ともだちや絵本美術館に出現したのは、
『おもしろい生きものが暮らす森』。

取り壊しになる家の柱から生まれたという
『ヤセ犬』の群れや、不要になった人形や
おもちゃから生まれた『メガロケス』などに
出会うことができます。

この子はどんな性格でどんな物語を作ってきたのか、はたまたこれからどんな物語を生み出していくのか、そんなことを想像しながら楽しむのが、この展示の醍醐味です。



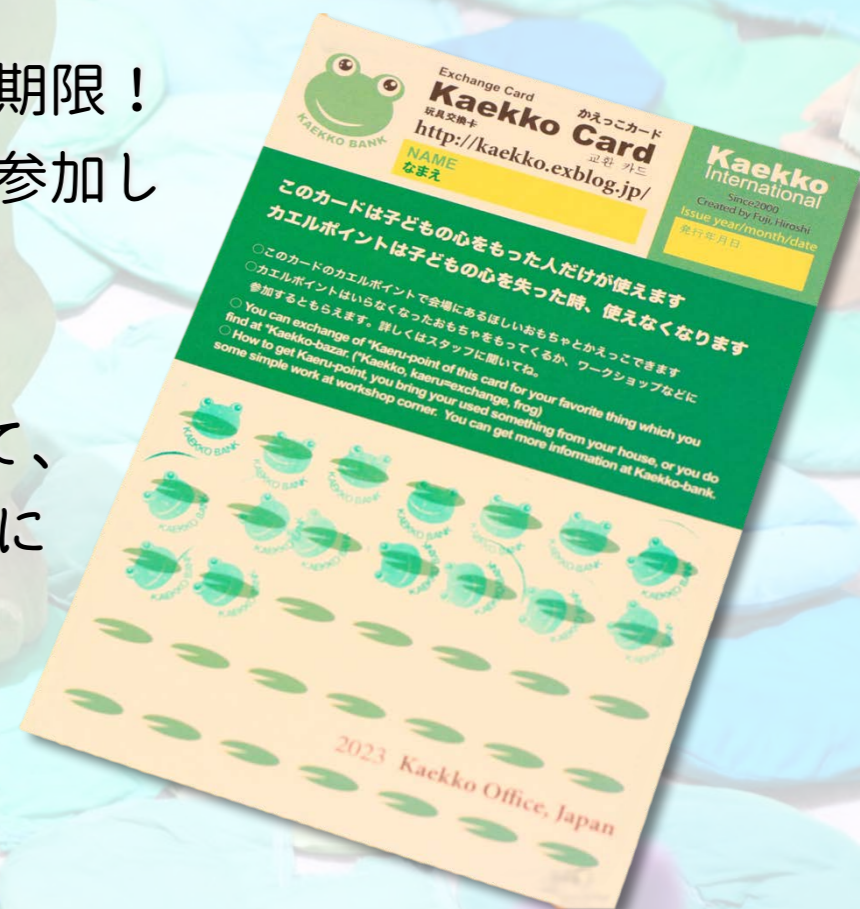
全国各地で開催される『かえっこ』

この企画展示と合わせて8月6日に開催されたのが、誰かの『いらないもの』が誰かの『たからもの』に生まれ変わるイベント『かえっこ』です。藤さんの発案で2000年に福岡でスタートして以来、海外の美術館や全国各地の学校、美術館、リサイクルプラザなど1000ヶ所以上のさまざまな場所で開催されてきました。

『かえっこ』ではさまざまな方法で『カエルポイント』をゲットでき、貯めたポイントで会場内のおもちゃと交換することができます。大牟田市では以前エコサンクセンターでも開催されており、ともだちや絵本美術館では今回が初めての開催となりました。

カエルポイントは全国共通、子どもの心を持っている間が有効期限！エコサンクセンターや別の会場で貯めていたポイントを持って参加しているお子さんの姿もチラホラ。

実はこの『かえっこ』、終了間際におもしろい仕掛けがあって、参加したお子さんたちは大量のカエルポイントを保有するためにせっせせっせと会場内で動き回るのでした。



目指せカエルポイント富豪

カエルポイントをゲットする手段は大きく分けて3つ。

1 「いらなくなったおもちゃを持ってくる」

『かえっこ』の会場には『かえっこバンク』が設置されており、いらなくなったおもちゃをカエルポイントに交換することができます。交換時はしっかりとした査定が行われ、状態の良いおもちゃ、スタッフを魅了するおもちゃには高ポイント付与！ここで一気にカエルポイント富豪になることも、夢ではありません。

2 「スタッフとして働く」

『かえっこ』は子どもスタッフが中心となって運営されており、会場内にはさまざまな仕事を用意されています。主な職種はバンクマン（査定）・ディーラー（値付け）・ポーター（運送・陳列）・レジマン（会計）など。コツコツ働いて地道にカエルポイントを貯めることもまた『かえっこ』の楽しみのひとつです。

3 「ワークショップに参加する」

会場内にて開催されるさまざまなワークショップに参加することでカエルポイント富豪を目指すこともできます。ともだちや絵本美術館では、動物園にちなんだものや、地元高校生主催のもの、企画展示『おもしろいきものもり』を活用したものなどが行われていました。



かえっこ目玉イベント『オークション』

お子さんたちがカエルポイントをたくさん集める理由、それは目玉イベントの『オークション』に参加するため！

かえっこバンクに持ち込まれたおもちゃはバンクマンによる査定を受けますが、この時に『感動ポイント』が付与されるおもちゃがあり、バンクマンの心が動いた分だけポイントが付けられます。

そしてそのおもちゃたちはすぐにマーケットには並ばず、オークション会場へと運ばれるのです。



笑顔と涙を見せた白熱の競り合い

この日はイベント終了30分前からオークションが開催。藤さん自らギャベルを握り、お子さんたちの競り合いを見守ります。藤さんは決してご自身の価値観でおもちゃの魅力を語ろうとはしません。価値を決めるのはあくまでもお子さんたち。落札希望者が多い物はポイントがどんどん釣り上がり、100ポイント以上で落札されたおもちゃもたくさんありました。落札できて笑顔を見せるお子さんがいれば、何度も競り負けて涙するお子さんも。開催地を問わずいつも真剣勝負で白熱するオークションは、かえっこ名物なのだそう。涙のあの子も次回は素敵なおもちゃを手に入られますように。





ワクワクせずにはいられない

なるべく買わないようにと思っけていても、なぜかいつの間にか家の中に溢れていくおもちゃたち。役目を終えたら遊ばれることもなくなって、その存在さえおぼろげに…。そんなおもちゃたちが集う場がこんなにキラキラしているなんて。会場にいたら、なんだか私もワクワクせずにはいられなくて。きっとお子さんたちはその何倍もワクワクしていたのではないかと思います。たから探しのような会場でお目当てのおもちゃを見つけ出し、手に入れるために考え、行動する。自分がいらな思っけて持ってきたおもちゃが、だれかの笑顔になる。日常の延長線上でありながらも非日常な空間に、楽しさと学びが詰まっている、そんなイベントでした。



展示は10月9日まで！ 次回かえっこも開催決定！

こんな素晴らしい『かえっこ』の仕組みをもってしても、引き取り手がつかないおもちゃはどうしても生まれていきます。それらを集めて新たな生命を吹き込むのが、藤さんなのです。

藤さんが生み出した、今にも動き出しそうなおもしろい生きものたちが暮らす森『おもしろいきものもり』で、生きものたちの物語を想像しながら、その迫力と、言葉では言い表せないような美しさを体感してみてください。

《おもしろいきものもり展示期間》
2023年10月9日まで
《次回かえっこ開催日》
2023年9月10日・10月9日

